



宮崎県

1. 商品名等

商品名	ちーゆず大福	
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)	
		西都市銀鏡にある自生の柚子は香りが良く、果実が大きく果汁が沢山あり、果皮までお菓子に使える素晴らしい柚子です。2種類の味わい深いコクのあるチーズを合わせ、口当たりなめらかに仕上げました。歯切れのよい求肥は時間がたっても硬くなりにくく、最後まで美味しくお召し上がりいただけます。幅広い年齢層の方にも、楽しんでもらえるような味で、チーズ大福や果実を使った大福は多くありますが、柚子とチーズを使った商品は珍しく、他の商品では味わうことのできない新感覚な商品となっています。

2. 学校紹介

学校名	宮崎県立西都商業高等学校	電話	0983-43-0079
住所	宮崎県西都市大字調殿880番地	FAX	0983-43-1665
担当者	濱 砂 光 識		
URL	https://cms.miyazaki-c.ed.jp/6023/htdocs/		
E-mail	saitosho02@miyazaki-c.ed.jp		
<p>本校は、昭和38年4月に宮崎県立妻高等学校商業科より分離独立、宮崎県立西都商業高等学校として新設されました。平成元年4月に学科改編により情報処理科が発足し、商業科3学級、情報処理科2学級となり、幾度かの学科改編を経て、現在、商業科1学級、経営情報科2学級の2学科が設置されています。その間、多くの有能な人材を輩出し、県内はもとより全国各地で卒業生が活躍しております。近年は、高度の資格取得や各種検定の合格実績はもとより、人間性豊かな生徒の育成を目指し、地域社会はもとより、国家・国際社会の発展に寄与する有為な人材を育成する商業高校として高い評価を受けており、そのことは、進学先、就職先の充実ぶりに表れています。</p> <p>しかし、平成30年度4月に妻高校と再び統合し、(新)妻高校に「情報ビジネスフロンティア科」が新設され、令和2年2月29日に閉校式を行い57年の歴史に幕を閉じます。</p>			

3. 実施科目等

科目名	商品開発	単位数	2単位
対象生徒	商業科	担当教員数	1名

4. 予算関係(費用)

事業所負担

5. 開発経緯等

商品開発の授業を選択し、地元の特産物を使った商品開発に取り組みました。まずは、地元の特産物は何か調べ、柚子やマンゴーなどがありました。そこで、西都市銀鏡に私たちは柚子収穫に行き、大きく綺麗で果汁があふれる柚子があることに気づきました。この柚子を使ったお菓子を作ろうと考え、日向利久庵に提案しました。いろいろな商品を提案しましたが思うようにはいかず試行錯誤が続きました。そこで柚子を薦めたところ、気に入っていただき、お店と私たちとでどのような商品を作るかを幾度となく話し合い、チーズ大福のチーズ部分に柚子果汁をミックスさせた商品を考えました。何度も試食をすることによって、細かい味の調整を行い、「ちーゆず大福」が完成しました。お店と協力してできた商品ですので、ちーゆず大福がたくさん売れることによって、柚子農家や日向利久庵に利益をもたらすことができると確信しています。

6. 販売形態・期間

①
・
無

ショッピングセンターで、月1回の販売。
各種イベントでの販売。

7. 協力者等

①
・
無

株式会社 日向利久庵

8. 商標登録の有無

有
・
②

9. 今後の課題・展望等

今現在は、販売実習や地域でのイベントで販売を行っているが、継続的に販売できるように販路拡大する場所を探す必要がある。